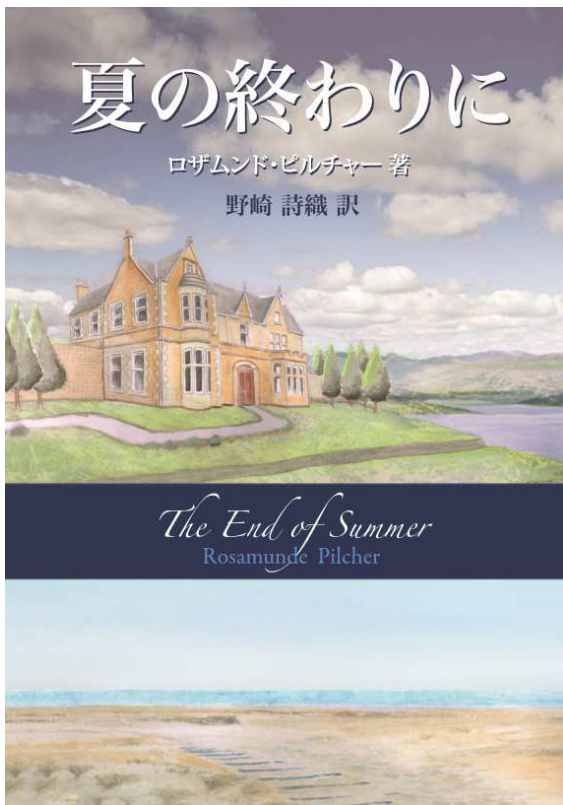




『夏の終わりに』

ロザムンド・ピルチャーの世界 ～物語のような生涯～



ロザムンド・ピルチャー氏

ロザムンド・ピルチャーはいつも海への憧れを描いてきました。波の音や海の上に浮かぶ雲の動き……。

その描く情景は常に登場人物たちの心模様を写しています。その礎になったものは、生まれ育ったイギリスの海沿いの街、コーンウォールにあると思われます。彼女の父は、彼女がまだ母のお腹の中に居た時に、東アジアの植民地へと仕事で行ってしまい、ロザムンドの母はお金持ちでもなく二人の子供を一人で育てるのなら、自然の美しい所がいいと思い、コーンウォールへ引っ越してきたのです。そこでエルムス(ELMS)というお屋敷に、11歳位まで過ごしています。一つのお屋敷に二つの世帯がシェアして住んでいましたが、そこから見える眺望は素晴らしく、木々の合間から海が見えるものでした。

原書: The End of Summer
タイトル: 『夏の終わりに』
定価: 1,900円+税
著者: ロザムンド・ピルチャー
(Rosamunde Pilcher)
訳者: 野崎詩織(のぎきしおり)
出版社: バベルプレス
判型: 210×14.8mm
頁: 234ページ
ISBN: 978-4894495111

Amazon(ご購入): <http://goo.gl/qpG8MA>



ロザムンドの生家ELMS



生地コーンウォール



夫のグラハム・ピルチャー氏

自然は、ピルチャーにとって自身を元気付けてくれるものであり、彼女の小説の世界でも人々が傷ついたり、憂鬱になった時に海や自然に触れて心癒されるシーンが多く描かれています。ピルチャーは生涯カントリーサイドを愛し続けています。素朴な生活を愛し、「シェルシーカーズ」の成功によってお金持ちになり、有名になっても、その生活は今までと変わらぬシンプルなものでした。

ロザムンドにとって書くことはどういう意味を持っていたのか？という問いにもこのように答えています。

「書くことは自分を解放することでした。結婚して夫に経済的に依存する形を取っていたので、良き妻であり、幸せな良き母であるためには(娘二人と息子二人の母でありました)、外に仕事を求めることはできなかつたのです。自分を解放する唯一の方法は、自己実現することではなく、自分自身に立ち返ることでした。自分自身であること……書くことによって違う世界の中に身を置くことができたのです」と。

そして自分が小説を書く際には、三つの着想に基づいていると話しています。

一つは、上層階級の詩情を描くこと、子供にも分かりやすい美しく魅力的な世界。

二つ目は、感じの良い人々でもお金のため、遺産を獲得するために生きて行こうとするとき、とても不愉快で強欲になっていく可能性がある、というテーマです。

三つ目は、戦争の時代を描くということです。



今回私が翻訳した「夏の終わりに」の中にも、カリフォルニアの海の情景や、スコットランドの湖の風景が抒情的に描かれ、主人公が自然や人々の温かさに接し、心癒されていくシーンや、遺産を巡り悲劇に巻き込まれていく人々の姿が描かれて行きます。

本当に人を幸せにしてくれるものは、もっとシンプルで、身近にあるものの中に隠れている、という著者からのメッセージが託されているように感じます。主人公ジェインが、迷いながらも最後には周りの雑音に惑わされることなく、自分の価値観を信じ、道を選び取って行く姿は、多くの人々の共感を呼ぶことと思います。

どうぞ皆様も「夏の終わりに」を手にとられて、ピルチャーと共に、彼女の愛の世界に足を踏み入れてみてください。

(文:『夏の終わりに』 翻訳者 野崎詩織)

(参考文献)

Rosamunde Pilcher Drehorte

<http://pilcher-drehorte.blogspot.jp/>

+people blog

<http://pe.0932.ru/rosamunde-pilcher.php>

The Telegraph

<http://www.telegraph.co.uk/news/obituaries/military-obituaries/army-obituaries/5268578/Graham-Pilcher.html>

Merkur.de

<http://www.merkur.de/reise/rosamunde-pilcher-sehnsuchtsziele-film-reise-zr-558899.html>

GEHLE

<http://www.gehle-reisen.de/?67936>

TV SPIELFILM

<http://www.tvspielfilm.de/kino/filmarchiv/film/rosamunde-pilcher-das-ende-eines-sommers,1306750,ApplicationMovie.html>

rosamundepilcherblog

<https://rosamundepilcherblog.wordpress.com/1995/02/05/ende-eines-sommers/>

Kino.de

<http://www.kino.de/star/iris-junik/>

otto.de

<https://www.otto.de/p/dvd-rosamunde-pilcher-collection-romantische-397948645/#variationId=-16938569>

Weltbild.de

https://www.weltbild.de/artikel/film/rosamunde-pilcher-collection-4-wunderschoenes-cornwall_19299963-1

shpock.com

<http://media.shpock.com/w-c-m/Buecher-von-Rosamunde-Pilcher-e5d160c.jpg>

Pinterest

<https://www.pinterest.com/aleananunes/rosamunde-pilcher/>

<https://www.pinterest.com/bevie64/rosamund-pilcher/>

<https://www.pinterest.com/aleananunes/rosamunde-pilcher/>

ebay

http://www.ebay.ie/sch/VHS-Tapes-/309/i.html?_sop=10&_nkw=rosamunde+pilcher

alamy

<http://www.alamy.com/stock-photo/rosamunde.html>

ロザムンド・ピルチャーのフォトアルバムの一例

<https://www.pinterest.com/bevie64/rosamund-pilcher/>

以上、ご高評くださいますよう、お願い申し上げます。

【本件に関する問い合わせはこちら】

〒180-0003東京都武蔵野市吉祥寺南町2-13-18

TEL : 0422-24-8935 FAX:0422-24-8932 email:press@babel.co.jp

担当：薮下数馬 バベルプレス（株式会社バベル）HP : <http://www.babelpress.co.jp/>